

■ 活動記録 ■

◆ 研究成果および業績 ◆

先端社会研究所 2013 年度活動記録一覧

■ 定期研究会 ■

第 1 回先端社会研究所定期研究会

共同研究「南アジア／インド班」研究会第 4 回

日 時：2013 年 6 月 21 日（金）16:00～18:00

場 所：先端社会研究所セミナールーム

報 告 者：山本 達也（京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科・日本学術振興会特別研究員〈PD〉）

題 目：舞台の上の難民－芸能集団の实践から見るチベット難民社会の排除と包摂

司 会 者：鈴木 慎一郎（先端社会研究所研究員／社会学部教授）

第 2 回先端社会研究所定期研究会

共同研究「日本班」研究会第 5 回

日 時：2013 年 7 月 5 日（金）15:10～16:00

場 所：先端社会研究所セミナールーム

報 告 者：金 明秀（先端社会研究所研究員／社会学部教授）

題 目：現代日本社会における排外主義

－日本のグローバル化と市民の政治参加に関する意識調査から

司 会 者：山口 寛（先端社会研究所所長／文学部教授）

第 3 回先端社会研究所定期研究会

共同研究「日本班」研究会第 6 回

日 時：2013 年 11 月 29 日（金）15:00～18:00

場 所：先端社会研究所セミナールーム

報 告 者：岡本 雅享（福岡県立大学人間社会学部准教授）

題 目：出雲からみた日本のネーション・ビルディング

司 会 者：島村 恭則（先端社会研究所研究員／社会学部教授）

第 4 回先端社会研究所定期研究会

共同研究「南アジア／インド班」研究会第 5 回

日 時：2014 年 1 月 24 日（金）16:00～18:00

場 所：先端社会研究所セミナールーム

報 告 者：工藤 正子（京都女子大学現代社会学部准教授）

題 目：英国におけるパキスタン系コミュニティの変容：

第二世代の女性たちによるエスニック境界の交渉に着目して

司 会 者：鈴木 晋介（先端社会研究所専任研究員）

■教育事業■

リサーチコンペ 2012 年度採択者による成果報告会

日 時：2013 年 5 月 11 日（土）13:30～16:45

場 所：先端社会研究所セミナールーム

報告者 (採択時所属研究科／身分)	研究テーマ
藤井 和子 (社会学研究科博士課程後期課程)	引揚者をめぐる排除と包摂 ー戦後日本における「もう一つの『他者』問題」ー
三阪 夕芽子 (社会学研究科博士課程前記課程)	貧困地域で興隆するペンテコステ派キリスト教 ーサブサハラ・アフリカ地域を事例に
福田 雄 (社会学研究科博士課程後期課程)	災害の慰霊・追悼にみられる記憶の持続と変容につい ての社会学的研究
中野 歩美 (社会学研究科博士課程後期課程)	インド・タール沙漠の移動／定住をめぐる言説空間と ジョーギーの自己認識に関する研究
松村 淳 (社会学研究科博士課程後期課程)	地方建築界における他者問題の研究ー「グローバル／ ナショナル／ローカル」という視座からー
矢崎 千華 (社会学研究科博士課程後期課程)	紙上「身の上相談」における相談の回答技法に関する 研究

2013 年度先端社会研究所リサーチコンペ

〈応募期間〉

2013 年 4 月 23 日（火）～5 月 24 日（金）

〈実施期間〉

2013 年 4 月 23 日（火）～6 月 15 日（土）

〈公開プレゼンテーション〉

日 時：2013 年 6 月 15 日（土）13:00～17:15

場 所：先端社会研究所セミナールーム

〈審査〉

6 月 15 日（土）公開プレゼンテーション終了後

第 1 回院生企画による研究会

日 時：2013 年 12 月 1 日（日）15:00～

場 所：先端社会研究所セミナールーム

報 告 者：阿部 小涼（琉球大学法文学部教授）

題 目：廃墟の大学を散歩しなければならない

司 会 者：三阪 夕芽子（関西学院大学社会学研究科博士課程前期課程）

第2回院生企画による研究会

日 時：2014年2月12日（水）13:00～

場 所：先端社会研究所セミナールーム

報 告 者：加藤 裕康（関東学院大学非常勤講師）

新 雅史（学習院大学非常勤講師）

コメンテーター：阿部 真大（甲南大学文学部准教授）

題 目：「生活圏」の行方と社会的なるものの可能性－ジモト／商店街／居場所の現在形

司 会 者：仲 修平（関西学院大学社会学研究科博士課程後期課程）、山森 宙史（社会学研究科博士課程後期課程）

第3回院生企画による研究会

日 時：2014年2月17日（月）12:00～

場 所：関西学院大学上ヶ原キャンパス E号館 201号室

報 告 者：小長谷 英代（早稲田大学社会科学総合学術院社会科学部教授）

題 目：フォークロア研究の国際比較 第一回研究会

司 会 者：谷岡 優子（関西学院大学社会学研究科博士課程前期課程）

■シンポジウム■

テーマ：グローバリゼーションと他者問題－日本・韓国・オーストラリアの排外主義

日 時：2014年3月1日（土）13:00～16:30

場 所：関西学院大学上ヶ原キャンパス 図書館ホール

講 演 者：安田 浩一（フリージャーナリスト）

金 明秀（先端社会研究所研究員／社会学部教授）

塩原 良和（慶応義塾大学法学部教授）

司 会 者：鈴木 謙介（社会学部准教授）

■全体研究会■

テーマ：「昭和のメディアミックス－娯楽映画のなかの排除と包摂から見えてくるもの、「兵隊やくざ」を中心に」

日 時：2014年3月8日（土）14:00～17:00

場 所：先端社会研究所セミナールーム

プレゼンター：李 建志（先端社会研究所副所長／社会学部教授）

パネリスト：上水流 久彦（県立広島大学地域連携センター講師）

上村 崇（福山平成大学福祉健康学部准教授）

■研究活動■

(1) 関西学院大学先端社会研究所－雲南省社会科学院交流

〈国際会議「International Conference on the Anthropology of Disaster and Disaster Mitigation and Prevention Studies」〉

開催日：2013年8月21日（水）～22日（木）

場 所：中国雲南省昆明市 雲南省社会科学院

報告タイトル／報告者：

「Towards a Comparative Sociology of Disaster」

荻野 昌弘（先端社会研究所研究員／社会学部教授）

「A process of becoming cultural heritage and succeeding memories」

濱田 武士（社会学研究科大学院研究員）

「宗教團體の災後重建活動與其正當性－以台灣佛教慈善團體投入的兩種災後重建為例」

村島 健司（社会学研究科研究科研究員）

〈現地調査1〉

期 間：2013年8月23日（木）～29日（木）

調査出張者：荻野 昌弘（先端社会研究所研究員／社会学部教授）、西村 正男（先端社会研究所研究員／社会学部教授）、林 梅（先端社会研究所専任研究員）、村島 健司（社会学研究科研究科研究員）、濱田 武士（社会学研究科大学院研究員）

場 所：中国雲南省昆明市、新平イ族タイ族自治州

概 要：新平イ族タイ族自治州の「県城」（県政府所在地）の調査

〈現地調査2〉

期 間：2014年3月4日（火）～10日（月）

調査出張者：西村 正男（先端社会研究所研究員／社会学部教授）、林 梅（先端社会研究所専任研究員）、村島 健司（社会学研究科研究科研究員）

場 所：中国雲南省昆明市、新平イ族タイ族自治州

概 要：新平イ族タイ族自治県の夏酒鎮の調査

(2) 海外現地調査

調査地：アメリカ

期 間：2013年7月22日（月）～8月4日（日）

調査出張者：鳥羽 美鈴

概 要：在米インド系文学者に関する現地調査と資料収集

調査地：イギリス

期 間：2013 年 7 月 28 日（日）～9 月 2 日（月）

調査出張者：関根 康正

概 要：イギリスの南アジア系移民社会の生活実践にみる排除と包摂に関する現地調査

調査地：香港

期 間：2013 年 9 月 13 日（金）～9 月 19 日（木）

調査出張者：Tsu Timothy

概 要：大学研究者との学術交流及び資料収集

調査地：韓国、徳島

期 間：2013 年 11 月 10 日（日）～11 月 20 日（水）

調査出張者：山 泰幸

概 要：韓国現地大学（高麗大学校、青巖大学校、済州大学校）訪問・資料収集、及び徳島県西部自治体にて移動民の資料収集

調査地：スリランカ

期 間：2013 年 11 月 9 日（土）～11 月 25 日（月）

調査出張者：鈴木 晋介

概 要：スリランカの宗教現象をめぐる排除と包摂の現地調査～「願掛け礼拝」を中心に

調査地：スリランカ

期 間：2014 年 2 月 13 日（木）～2 月 23 日（日）

調査出張者：鈴木 晋介

概 要：スリランカの宗教現象をめぐる排除と包摂の現地調査～「路傍の仏堂」に関するデータ収集

調査地：韓国

期 間：2014 年 2 月 19 日（水）～2 月 22 日（土）

調査出張者：山 泰幸、金 明秀、島村 恭則、川端 浩平

概 要：済州大学校にて行われるシンポジウムへの参加及び報告と現地調査